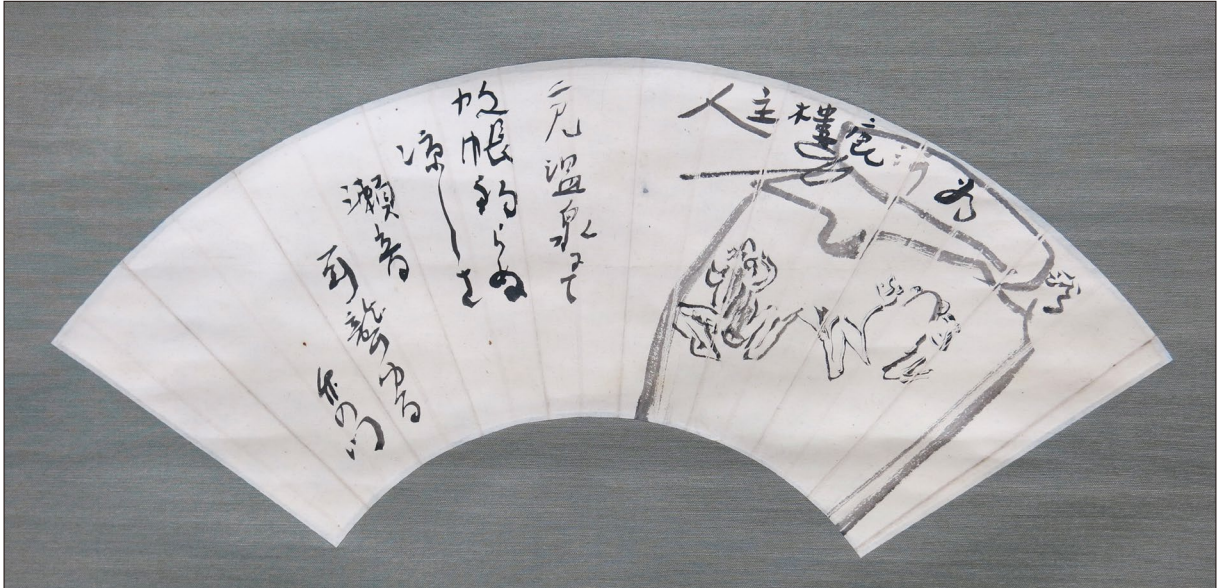


博物館だより



いかだ い たけ かどさん とみ た けい せん が せんめんがっさく ふた み
筏井竹の門賛・富田溪仙画《扇面合作》(二見温泉にて)

大正3年(1914) 当館蔵

近代高岡文芸の盟主で俳人・俳画家の筏井竹の門(1871~1925)と、福岡県博多出身の日本画家で、京都画壇で活躍した富田溪仙(1879~1936)との合作扇面。本紙左部に竹の門の賛「二見温泉にて／蚊帳釣らぬ／涼しさ／瀬音／耳聾ゆる」があり、落款「竹の門」とある。右部に溪仙の画があり、カエル2匹が容器の側面をよじ登る様子が描かれる。画のすぐ上に、「溪 為河鹿楼主人」とあり、描かれているカエルは「カジカガエル」であろう。

竹の門は自身の俳画の師・溪仙と交遊があり、『筏井竹の門覚書』(江沼半夏、1990)によると、大正3年(1914)7月15日から21日まで溪仙ら7名と黒部峡谷から信州へ遊行している。その間の16日夜に二見温泉(黒部峡谷内にある小温泉の一つ)に泊っており、本資料はその折に描かれたものと考えられる。

筏井竹の門は金沢市出身。加賀藩士・向田家に生まれる。本名は虎次郎。号は竹の門のほか、北雪・此君・四石・松杉窟などがある。明治25年(1892)高岡に転居。河東碧梧桐に師事し、日本派俳句会「越友会」の指導、俳誌『葦附』の刊行など越中俳壇に大きく貢献した。また溪仙、小川芋銭らと親しく往来して俳画にも打ち込み、多数の淡彩墨画を遺した。句集・歌集・遺墨集4種がある。高岡古城公園内に句碑もある(隣には息子で歌人の嘉一の歌碑が建つ)。



【2021年7月31日(土)~10月10日(日) 高岡市立博物館 特別展「生誕150年記念 筏井竹の門展」を開催予定】

令和2年度の高岡市立博物館

◆常設展「高岡ものがたりー楽しく知ろう！ひらめき・ミュージアムー」

本展では、高岡市の歴史・民俗・伝統産業等について、適宜展示を充実させながら分かりやすく紹介しています。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、4月18日（土）から5月17日（日）まで臨時休館となりましたが、市・県内外から多くの方々にご来館いただきました。

【お宝コーナー】

今年度、本展示コーナーでは5つのミニ展示を行いました。「博物館の開館と高岡ー昭和40年代の収蔵資料ー」（4/4～7/5）では、令和2年は当館が開館50周年にあたることから、当館が開館した年代に収蔵された資料（計9点）を展示し、高岡との関わりを紹介しました。「林忠正三兄弟宛の西園寺公望書簡」（7/11～9/13）では、「最後の元老」西園寺公望（1849～1940）から親交のあった高岡出身の世界的美術商・林忠正（1853～1906）と二人の弟に宛てた書簡を展示しました。「まだまだあります！高岡のお宝」（9/19～11/22）では、特別展「高岡のお宝展」で展示することができなかった資料のなかから厳選した資料（計8点）を展示しました。「堀川敬周筆、二つの《漁樵図屏風》」（11/28～R3.1/31）では、中国の詩「漁樵問答」に基づく人気の画題で、高岡初の町絵師・堀川敬周（1789頃～1858）が描く「漁樵図屏風」を2点展示しました。2月13日より開催予定の「またまた発見！渋沢栄一書簡」（～4/11）では、新たに発見された“近代日本資本主義の父”渋沢栄一（1840～1931）の書簡（当館蔵）を展示します。



お宝コーナー「林忠正三兄弟宛の西園寺公望書簡」
(7/11～9/13)



お宝コーナー「まだまだあります！高岡のお宝」
(9/19～11/22)

館蔵品展「昔の道具とくらし」（会期：4/1～7/12）では、当館が収蔵する衣・食・住をはじめとした古い生活道具類「民具」（計102件148点）に焦点をあて、それぞれの民具がもつ歴史や用途のほか、その時代を生きた人々の暮らしについて展示・紹介しました。開館50周年記念 特別展「高岡のお宝展」（会期：8/1～10/11）では、令和2年（2020）の開館50周年を記念して、当館がこれまで収蔵した高岡に関する資料のうち、厳選した「高岡のお宝」（計143件441点）を展示・紹介しました。館蔵品展「高岡ゆかりの屏風」（会期：11/21～R3.1/11）では、高岡初の町絵師・堀川敬周が描く《牡丹に孔雀図屏風》等2件の新発見資料をはじめ、未公開資料を含めた当館収蔵の高岡ゆかりの屏風（計9件17点）を展示・紹介しました。現在は、館蔵品展「昔の道具とくらし」（R3.2/6～）を開催中です（次年度7月11日まで開催予定）。

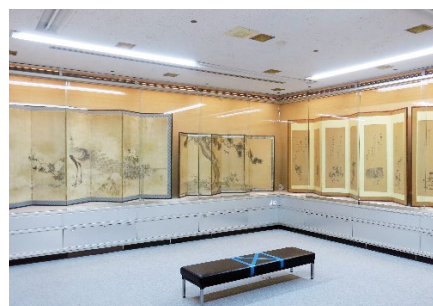
今年度の講座・イベントは、新型コロナウイルスの感染拡大の状況を鑑み、内容を一部変更して行いました。桜の開花時期に合わせた屋上開放「古城公園展望台」及び当館茶室「松聲庵」で行う呈茶の会（春・秋）は、今年度の開催を見合わせました。このほか高岡に関わる話題について研究者よりお話いただく郷土学習講座（全3講）、当館職員による特別展講演会（1回）、古文書講座「初めての古文書教室」（9～11月／全6講）等は、日程の延期や定員削減を行いながらの開催ではありましたが、多くの方にご参加いただきました。



開館50周年記念 特別展「高岡のお宝展」
(8/1～10/11)



郷土学習講座「江戸後期、高岡の文人たち」
(9/12)



館蔵品展「高岡ゆかりの屏風」
(11/21～R3.1/11)

新収蔵資料紹介（令和3年1月31日現在）

・購入（25件29点。購入順）

No.	資料名称	点数	分類	No.	資料名称	点数	分類
1	明治31年11月6日付 西園寺公望書簡（林忠正三兄弟宛）	1	歴史	14	絵葉書「（高岡名勝）七本杉	1	歴史
2	年未詳3月26日付 洪沢栄一書簡（大橋半七郎宛）	1	歴史	15	絵葉書「高岡市商業会議所」	1	歴史
3	高岡御車山絵葉書（彩色／通り町・守山町・小馬出町）	1	歴史	16	絵葉書「越中氷見郡（西田）臨濟宗大本山国泰寺山門ノ景」	1	歴史
4	高岡名勝絵葉書「射水神社」	1	歴史	17	絵葉書「射水神社（全景／本社・神楽殿）」	2	歴史
5	『高岡市市勢要覧』（昭和13年版）	1	歴史	18	堀川敬周筆、西村十丈園賛《紙本彩色松尾芭蕉像》	1	美術
6	年未詳3月5日付 前田利長・永姫侍女奉書（三ゑもん宛）	1	歴史	19	『ふしき』（昭和11年度）	1	歴史
7	年未詳4月2日付 前田利長書状（九兵へ・左内宛）	1	歴史	20	浅井竹の門和歌短冊《蓮は実となり》	1	美術
8	明治14年8月5日付 塩船積証文（越中高岡平能彦三郎船）	1	歴史	21	高岡市元町銅器商・堀井長平商店カタログ	1	歴史
9	高岡市内絵葉書（御野立所・瑞龍前田公遺徳碑・高岡関野神社）	3	歴史	22	高岡市坂下町・木勢漆器店『高岡漆器型録』	1	歴史
10	絵葉書（「川原神社及沢田清兵衛翁肖像」「系図及翁ノ遺墨」）	2	歴史	23	高岡市街地図（1/13500）	1	歴史
11	彩色絵葉書「高岡市小矢部川」	1	歴史	24	深井彪著『諸国廃城考之内賀能越三州抜粹』（写本）	1	歴史
12	絵葉書「（高岡名勝）高岡市々街ノ景」	1	歴史	25	磯野小兵衛編『学海新誌』（第1～4号）	1	歴史
13	絵葉書「高岡市外及高岡市役所」	1	歴史				

・寄贈（54件546点。受入順。一括資料は仮に100点と計上）

No.	資料名称	点数	分類	寄贈者	No.	資料名称	点数	分類	寄贈者
1	写真「朝陽橋より中の島を望む」	1	歴史	西田努氏	27	モンペ	2	民俗	藤井喜代乃氏
2	掘炬燵の炉	2	民俗	江畑圭英氏	28	ショール	2	民俗	
3	鋸各種・写真（鷺北機工具店）	(一括)	民俗	鷺北洋子氏	29	炬燵の上掛け	1	民俗	
4	かき氷機（タイガー製ベビーアイス）	1	民俗	匿名希望	30	重風呂敷・紐・重布団	5	民俗	匿名希望
5	市内企業・商店風呂敷	4	民俗	福澤久美子氏	31	タイガー製 餅つき機「力じまん」	1	民俗	
6	高角砲弾薬筐プレート	2	歴史	幸塚昭英氏	32	東芝製 電気掃除機	1	民俗	松郷誠一氏
7	半鐘	1	民俗	高岡市消防団 定塚分団（第3分団）	33	陸軍輜重兵・松郷 宏氏関係資料（戦時下資料）	28	歴史	
8	山岡鉄舟筆 扁額《終始一儀念》	1	美術	松谷義雄氏	34	看板「タカザアスターゼ」	1	民俗	津田俊治氏
9	福岡市郎鑄造・吹田正光象嵌《鑄銅象嵌七福神文火鉢》	1	民俗	福岡良子氏	35	ホーロー看板「タカザアスターゼ」	1	民俗	
10	絵葉書（市内・県内）	27	歴史	高畑一男氏	36	炭取り	1	民俗	角谷登氏
11	高畑芳山作《菊文彫刻塗文庫》・《柿文彫刻塗文庫》	2	民俗		37	高岡漆器 火鉢（一対）	2	民俗	
12	砺波郡光明寺資料	(一括)	歴史	光明寺自治会	38	米治一年賀状（早苗藤作宛）	5	歴史	早苗豊治氏
13	堀川敬周筆《牡丹に孔雀図屏風》（6曲1隻）	2	美術	片岸昭二氏	39	嫁のれん（宝船文）	1	民俗	
14	湯たんぽ	1	民俗	匿名希望	40	重掛け・中包み・重箱の座布団	3	民俗	
15	古地図（世界・日本・富山）	(一括)	歴史	室崎信一氏	41	米静雲筆《南瓜に蟋蟀図》	1	美術	匿名希望
16	青貝塗火鉢（新高岡米穀取引所創立五十周年記念表彰品）	2	民俗	神初尚武氏	44	射水郡五十里村・西家文書	9	歴史	
17	二代須賀松園作 蠟型鑄造賞牌《立山と雷鳥》	1	民俗	本保澄雄氏	45	高足駄（女物）	1	民俗	山田館夫氏
18	二代須賀松園作 蠟型鑄造額面《魁星》	1	民俗		46	国民服（上衣）	4	民俗	杉本義路氏
19	藤井能三筆 和歌短冊《雨中菊》	1	美術	佐藤彦彦氏	47	高岡米商会所定期米価格高低表	4	歴史	匿名希望
20	雪ばんば	1	民俗	今井昭次氏	48	電信略語表	2	歴史	
21	「高岡市立伏木中学校々舎建築概要」	1	歴史	匿名希望	49	肥物卸小売営業承認書	1	歴史	
22	正村陶所筆《羅漢図》	1	美術		50	高岡新報社本社株主総会決議通告書	1	歴史	匿名希望
23	高岡市大坪町・鍛冶職 藤井家文書	(一括)	歴史	藤井喜代乃氏	51	米価相場一覧表	1	歴史	
24	重箱	5	民俗		52	金森佐兵衛作《鉄瓶》	1	美術	匿名希望
25	炭取り	1	民俗		53	高岡市内商店引札	6	民俗	匿名希望
26	乳母車	1	民俗		54	高岡大仏開眼式次第	1	歴史	匿名希望

※購入・寄贈資料の詳細は、『高岡市立博物館年報 第35号』を参照のこと。

資料ご寄贈のお願い

当館では、絵図・古文書や古写真などの「歴史資料」、古い生活道具や農具などの「民具」や銅漆器など高岡の伝統産業に関わる資料を収集しています。これらの資料は後世に歴史や生活文化等を伝える貴重な「文化遺産」です。お持ちの方はぜひご寄贈いただきたくお願い申し上げます（高岡関係の資料に限らせていただきます）。

高岡市立博物館 スケジュール(予定) 2021年4月～2022年3月

イベントスケジュール			
展 示		イベント・講座	
4月	4/1 常設展「高岡ものかたろー 楽しく知ろう！ひらめかせよう ミュージアム」1周年開催	4/1 館蔵品展「高岡の道具とくらし」	4/10 呈茶の会「松聲庵ー博物館で抹茶を楽しみませんかー」
5月			6/26 郷土学習講座(1)「五十嵐篤好の国学」
6月			
7月		7/11 特別展「生誕150年記念 浅井竹の門展」展示説明会①	7/31 特別展「生誕150年記念 浅井竹の門展」展示説明会②
8月		8/7 郷土学習講座(2)「高岡の近代化と相対講地(仮)」	8/28 特別展「生誕150年記念 浅井竹の門展」展示説明会③
9月		9/9 古文書講座「初めての古文書教室」①	9/11 郷土学習講座(3)「高岡の地名について(仮)」
		9/24 古文書講座「初めての古文書教室」②	9/25 特別展「生誕150年記念 浅井竹の門展」展示説明会④
10月		10/2 特別展講演会「竹の門の手紙を読む」	10/7 古文書講座「初めての古文書教室」③
	10/10 館蔵品展「高岡の道具とくらし」	10/21 古文書講座「初めての古文書教室」④	
11月		11/4 古文書講座「初めての古文書教室」⑤	11/6 呈茶の会「松聲庵ー博物館で抹茶を楽しみませんかー」
	11/20 館蔵品展「高岡の道具とくらし」	11/18 古文書講座「初めての古文書教室」⑥	
12月			
1月			
2月		2/5 館蔵品展「高岡の道具とくらし」展示説明会①	
3月		3/12 館蔵品展「高岡の道具とくらし」展示説明会②	

※当館イベントに参加される方へ
 ・当日は必ずマスクの着用をお願いします。
 ・来館時に検温を実施します。高熱等で体調が悪い場合は参加をご遠慮いただく場合があります。
 ・イベント参加の際に、連絡先(住所・氏名・電話番号)を記入いただくことがあります。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベントの日程・内容が変更となる場合があります。イベントの最新情報については、当館ホームページ・SNS等をご確認ください。

※上記の他に親しむ会イベントも多数開催予定(HP等を参照)

◆令和3年度 郷土学習講座(全3回)

郷土高岡に関わるさまざまな話題について紹介いただく連続講座を開催します。

〔第1講〕演題:「五十嵐篤好の国学」

講師:奥野 美友紀氏(富山県立大学非常勤講師)

日程:6月26日(土)

〔第2講〕演題:「高岡の近代化と相対講地(仮)」

講師:荒木田 岳氏(福島大学准教授)

日程:8月7日(土)

〔第3講〕演題:「高岡の地名について(仮)」

講師:中葉 博文氏(日本地名研究所理事)

日程:9月11日(土)

いずれも、

・時 間:午後2時～3時30分

・会 場:当館新館3階講堂

・定 員:30名(先着順・要申込)

・受講料:300円(当館親しむ会会員は200円)

・申込受付:〔第1講〕6月22日(火)午前9時より開始

〔第2講〕8月3日(火)午前9時より開始

〔第3講〕9月7日(火)午前9時より開始

・申込方法:電話にて、住所・氏名・電話番号・親しむ会入会の有無をお知らせのうえ、お申し込みください(定員に達し次第締切)。

◆令和3年度 古文書講座「初めての古文書教室」(全6講)

古文書は貴重な歴史の証言者です。郷土の歴史を再発見してみませんか?今年度も、古文書解読初心者の方を対象とした古文書教室を開催します。

・日 程〔第1講〕9月9日(木)〔第4講〕10月21日(木)
 〔第2講〕9月24日(金)〔第5講〕11月4日(木)
 〔第3講〕10月7日(木)〔第6講〕11月18日(木)

・時 間:午後2時～3時30分

・講 師:仁ヶ竹副主幹学芸員

・会 場:当館新館3階講堂

・定 員:30名(先着順・要申込)

・受講料:2,000円(当館親しむ会会員は1,800円)

・申込受付:8月11日(水)午前9時より開始

・申込方法:電話・FAX・メールいずれかの方法で、住所・氏名・電話番号・親しむ会入会の有無をお知らせのうえ、お申し込みください(定員に達し次第締切)。



◆呈茶の会「松聲庵ー博物館で抹茶を楽しみませんかー」

柔らかな日差しが降り注ぐ森の中の古いお茶室で、本格的なお茶席をお楽しみいただけます。古城公園への散歩がてら、どなたでもお気軽にお立ち寄りください。

・日 時:4月10日(土)、11月6日(土)
 午前10時～午後3時
 (受付は午後2時30分まで)

・場 所:当館茶室「松聲庵」

・参加料:500円(お菓子付)

※茶券は当日受付にて販売



茶室「松聲庵」
 ※1日4,000円(税別)で利用可

※新型コロナウイルス感染症対策で、一席に茶室内へ入室できる人数を制限しているため、長時間お待ちいただく場合があります。

◆特別展「生誕150年記念 浅井竹の門展」

高岡ゆかりの俳人・俳画家の浅井竹の門(1871～1925)は、郷土の俳句の発展に貢献し、また俳画や短歌にも優れた近代高岡を代表する文人です。令和3年(2021)は、浅井竹の門生誕150年の節目にあたります。本展では、当館が日頃より収集・保管してきた浅井竹の門の俳句や俳画等の資料を展示・紹介します。

・会 期:7月31日(土)～10月10日(日)

・会 場:当館新館企画展示室

・入館料:無料

◇会期中のイベント

(1)講演会 演題:「竹の門の手紙を読む」講師:仁ヶ竹副主幹学芸員

日時:10月2日(土)午後2時～3時30分

会場:当館新館3階講堂 定員:30名(先着順・要申込)

受講料:無料

申込受付:9月28日(火)午前9時より開始

(2)展示説明会(全3回)

・日程:①7月31日(土)〔申込受付:7月27日(火)午前9時より開始〕

②8月28日(土)〔申込受付:8月24日(火)午前9時より開始〕

③9月25日(土)〔申込受付:9月18日(土)午前9時より開始〕

・時間:各日午後2時～2時30分

・定員:10名(先着順・要申込)・受講料:無料

※上記イベントの申込方法:電話にて、住所・氏名・電話番号をお知らせのうえ、お申し込みください(定員に達し次第締切)。

一開館時間一
 午前9時～午後5時
 (入館は4時30分まで)

一休館日一
 毎週月曜日
 (月曜日が祝・休日の場合はその翌平日)

年末年始
 (12月29日～1月3日)

一交 通一
 高岡駅から徒歩約15分

一入館無料一